

○基本情報（令和 6 年 8 月 1 0 日現在）

- ・ 医療機関名
戸田中央総合病院
- ・ 開設主体
医療法人社団 東光会
- ・ 所在地
埼玉県戸田市本町 1 - 1 9 - 3
- ・ 許可病床数

（病床種別）	一般病床	: 517 床
（病床機能別）	高度急性期	: 27 床
	急性期	: 472 床
	回復期	: 18 床
- ・ 稼働病床数

（病床種別）	一般病床	: 484 床
（病床機能別）	高度急性期	: 27 床
	急性期	: 439 床
	回復期	: 18 床
	未稼働	: 33 床
- ・ 診療科目
内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、精神科、外科、整形外科
形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科
泌尿器科、放射線科、麻酔科、アレルギー科、リウマチ科、救急科、移植外科
乳腺外科、消化器外科、腎臓内科、病理診断科、脳神経内科、リハビリテーション科
緩和ケア内科、婦人科 【計 3 0 診療科】
- ・ 職員数

（医師）	250 名	（内非常勤 : 124 名）
（看護職員）	568 名	（内非常勤 : 67 名）
（専門職）	279 名	（内非常勤 : 6 名）
（事務職員）	200 名	（内非常勤 : 23 名）

1. 現状と課題

①当該病院（自施設）の現状

- ・地域内での役割・機能

地域がん診連携拠点病院・災害拠点病院・地域医療支援病院等の役割を担っており、南部医療圏の高度急性期医療の提供を行っている。

一日の救急車を 20 件前後（年間 7,000 件ペース）受け入れており、南部地域の救急のかなめである。

②当該病院（自施設）の課題

コロナ禍以降、コロナ患者受け入れ用に休床中の 33 床を稼働させコロナ専用病棟に変更した。また、主に救急などの急性期需要に対応するため障害者病棟として運用していた当該病棟（C3 病棟）を 2021 年に急性期病棟へ変更して暫定的に運用してきた。

当院は、昨年に SCU 6 床を稼働させ稼働率 100%となっているため SCU を 9 床へ増床し、脳神経外科病棟と脳神経内科病棟を一体化させ脳卒中センターとして運用する予定であるが、いずれの病棟も在院日数の長期化が問題となっている。さらに整形外科病棟も在院日数の長期化が課題であり、いずれにおいてもその一因が回復期病院への転院に時間がかかっているのが現状である。

そこで、休床中の 33 床については、当初、33 床すべてを急性期として再稼働すべく計画していたが、上記課題に対応するため、高度急性期 3 床と回復期 30 床（回りハ）として稼働させることとした。

2. 医療機能ごとの病床数

時点	病床数	医療機能別					区分別	
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	一般	療養
2023 年 7 月 1 日 時点	517	27	439	18	0	33	517	0
2025 年 7 月 1 日 時点	517	30	439	30	18	0	517	0

※令和 5 年度病床機能報告の数値を入力

3. 今後の方針

①地域医療構想を踏まえた当該病院（自施設）の地域において今後担うべき機能・役割
地域完結のために救急医療・高度急性期治療を提供。感染症にも対応。

②①を踏まえた今後の方針

（病床機能や診療科の見直し、他病院との連携の方針、その他見直しの予定等）

SCU (3床)、HCU の増設。

③その他の数値目標について

救急搬送件数 20 件/日以上、新入院患者数 33 人/日以上、病床回転数 2.3 回以上、平均在院日数 13 日以内

4. 新興感染症への取組

陰圧室を含む重症病床 2~4 床を備える、現在未稼働状態の旧コロナ病床 23 床及び休床中の 8 床の合計 31 床の運用を検討中である。

5. その他

1 次脳卒中センターコア施設として血栓回収治療の充実を図り、SCU を 6 床稼働させ、24 時間脳卒中受け入れ態勢を構築。脳卒中症例が急増しており、SCU の 3 床増床を検討中。